

「AI を活用したものづくり」講演会 報告

- 1 日時 令和5年2月7日（火）13:30～16:00
- 2 場所 福井県工業技術センター講堂およびWeb配信
- 3 主催 公益財団法人ふくい産業支援センター
- 4 共催 ふくい産業ロボット研究会、ふくいオープンイノベーション推進機構
- 5 事業 プロフェッショナル人材マッチング支援事業（県からの委託事業）
- 6 参加者 74名（リアル40名・オンライン34名）

公益財団法人ふくい産業支援センターは県内ものづくり企業の新分野展開・新事業創出、労働生産性の向上等を支援するプロフェッショナル人材マッチング支援事業を実施しており、その一環として、「AI を活用したものづくり」講演会を開催いたしました。

AI はものづくり企業にとって労働生産性向上が大いに期待できる技術であり、機械の故障予知、製品の外観検査などものづくり現場への活用が始まっております。今回、この分野の第一線でご活躍の講師を迎え、進展目覚ましいAI 技術の動向の他、AI による外観検査時の課題とその取り組み紹介、工作機械 NC プログラミング完全自動化ソフトを軸とした効果的な AI 運用などについてお話しいただきました。また、本事業のスタッフから今年度の活動状況についても報告を行いました。

内容

13:30 開会あいさつ

公益財団法人ふくい産業支援センター 常務理事 山本雅己

13:35 「AI 画像処理技術による外観検査の研究動向と技術的課題への取り組みについて」

福井大学学術研究院工学系部門情報・メディア工学講座 講師 張 潮 氏

従来の画像処理技術とAI 技術を比較し、AI の特性およびそれに伴う問題点と課題（リアルタイム性の確保や学習サンプル数の不足など）の説明がありました。また、これらの課題に立ち向かう張研究室の取り組み（特に、少ない異常サンプルのみから異常検知を行う技術）について紹介がありました。

14:45 「ARUMCODE が進む完全自動化への道筋」

アルム株式会社 代表取締役 CEO 平山京幸 氏

工場自動化の必要性や自動化推進を成功させるコツや心構えなど、FA メーカーとして培った知見や実践的なノウハウの説明がありました。また、工作機械 NC プログラミング完全自動化ソフト『ARUMCODE1』（「CEATEC AWARD2022」デジタル大臣賞受賞）を軸として中小金属加工企業がAI 導入を推進する意義や、効果的なAI 運用の秘訣を紹介されました。

15:25 活動報告

プロフェッショナル人材マッチング支援事業

マネージャー 小杉裕昭

コーディネーター 強力真一

15:45 名刺交換会



開会あいさつ



参加者



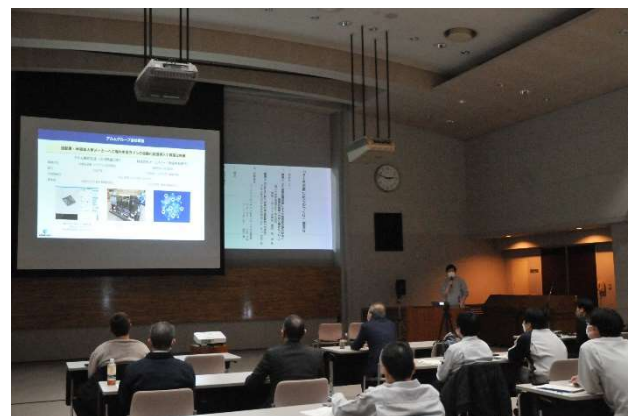
張 講師



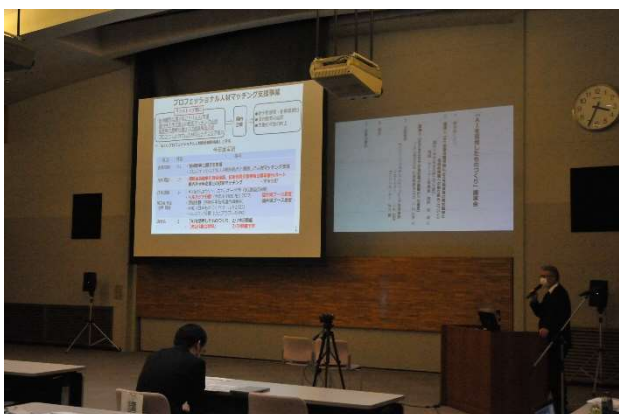
張 講師



平山 講師



平山 講師



小杉マネージャー



強力コーディネーター